

「ない」ものを求めるより、「ある」ものを活かす工夫を

コミュニケーション能力、考える力、英語力……。現代の学生は自分に「ない」ものを身に付けようと必死になり、周囲の大人たちもそれが不可欠であるかのように声高に叫ぶ…。

「ない」ものを手にするための努力それ自体を悪いとは思わないが、そもそもそれは本当に必要なものなのだろうか。本講では、そんな問題提起とともに、自分に「ある」ものに目を向けて有効活用するための考え方やテクニックを伝授。

『語学力ゼロで8ヵ国語翻訳できるナゾ』（講談社）の著者が、自らの手で道を切り開く知恵を学生たちに伝えていく。

講師：水野麻子 有限会社サグラーシェ代表取締役・家庭教育師（家庭教育学会会員）

実務経験も事前学習もなしに翻訳者になると決めて2週間で独立(23歳)。営業をまったくせずに数ヶ月先まで予約で一杯の状態を維持。1日平均処理量は、一般的な翻訳者の5~6倍。「好きなことを仕事にする」をモットーに、そのときどきで関心・興味を持てるものを仕事にかえて満喫。現在は、執筆を中心に活動中。著書に『語学力ゼロで8ヵ国語翻訳できるナゾ』、『らくがきが驚きの効果を生む「ピクチャー・ノート」勉強法』など。

日時：2011年2月16日(水) 10:00-15:40

会場：聖学院大学エルピスホール・インターネットカフェ

(埼玉県上尾市戸崎1-1)

当日プログラム(予定)

時間	時間	内容(講演/ワークショップなど)
1時間目	10:00-10:50	「良い」ノートとは：ノーツの作り方、考え方、材料のヒント
	10:50-11:30	ことばについて考える(1) 英語力とは？「できる」「できない」の線引きは？「できない」根拠は？
昼休み	11:30-12:40	
2時間目	12:30-12:55	ことばについて考える(2) 「わからない」とは、どういう状態か？何がどうわからないのか？
	12:55-13:30	調べ物について
	13:30-14:00	「ワークショップ」：調べ物の選択肢の可能性を探る
3時間目	14:10-15:40	グループディスカッション・まとめ